

患者さんへ

「脳卒中重症度軽減効果を有する糖尿病や高血圧内服薬」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2013 年 1 月から 2019 年 3 月の間に、脳卒中を発症して 24 時間以内に当院脳卒中診療科に入院した患者さん。
2 研究目的・方法	高脂血症治療薬の一つであるスタチン製剤（3-Hydroxy-3-methylglutaryl-coenzyme A（HMG-CoA）還元酵素阻害薬）は重症度スコアを軽減する効果を有すると報告されています。糖尿病治療薬や高血圧治療薬の中にもスコア軽減効果を有する治療薬が存在する可能性があります。脳卒中は発症しないことが最も重要ですが、生活習慣病治療薬を内服していても発症されます。それゆえ多くの種類がある糖尿病や高血圧治療薬の中で、脳卒中重症度軽減効果を有する薬剤を選択できるのであれば選択した方が良いと思われます。来院時に評価した脳卒中患者さんの脳卒中（神経学的）重症度のスコア（0 点（症状無）から 42 点（最も重症））や服用していた薬剤の内容などの診療録の情報より脳卒中重症度軽減効果を有する糖尿病と高血圧治療薬が存在していたかを調査いたします。 研究の期間：施設院長許可後～2023 年 12 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、体重、症状、採血結果、病前の服薬内容、脳卒中神経学的重症度スコア 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 森 貴久 湘南鎌倉総合病院 脳卒中診療科、脳血管障害予防センター 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717